



## 新任・転入職員のご紹介 (順不同)

4月1日付で当院に新しく着任したスタッフを紹介します。皆様よろしくお願い致します。

### ●総務部

【総務部参事兼総務課長・地域支援・研修交流課長】



木村 正明 (転入)  
病院勤務は初めてで戸惑いばかりの4月です。一日も早く業務に慣れるよう努めますので、よろしくお願い致します。

### ●リハビリ療法部

【参事兼作業療法士】



柴田 八衣子 (転入)  
中央病院から人事異動で約15年ぶりに戻って参りました。心機一転、よろしくお願い致します。

【理学療法士】

### ●看護部

【看護師】



赤松 香織 (転入)  
中央病院から異動してまいりました。皆様と共に笑顔で元気一杯に頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



藤塚 奈々 (新人)  
退院後、患者さんがその方らしい生活を送れるよう、安全で安楽な看護に努めます。精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。



松本 梨沙 (新人)  
一年目でご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、一日でも早く理学療法士として成長できるよう、常に笑顔で努力してまいります。よろしくお願い致します。



藤井 倅冬 (新人)  
初めはわからないことが多くご迷惑をおかけすることもあると思いますが、1日でも早く皆様からの信頼を得られる理学療法士になれるように精一杯努力します。よろしくお願い致します。



江頭 遼太 (新人)  
新任として学ぶ姿勢を大切にしながら、同職種はもちろん他職種の方からも信頼される理学療法士を目指して努力してまいります。よろしくお願い致します。

### ●検査・放射線部

【臨床検査技師】



森田 裕奈 (転入)  
中央病院から異動してまいりました。佐用町出身の森田です。地元の皆様の健やかな暮らしに貢献できるよう、誠心誠意努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

【作業療法士】



飯田 陸 (新人)  
たくさん質問をするかも知れませんが、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

### ●総合相談・地域連携室

【ソーシャルワーカー】



河井 優希 (新規)  
持ち前の明るさと笑顔で、一生懸命お仕事させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。



岩上 亜斗夢 (新人)  
自己研鑽や先輩方の指導を通していち早く皆様にご貢献できるよう努力しますので、よろしくお願い致します。

## オンライン学習(e-ラーニング)導入による職員研修の充実化

センター職員研修委員会

当院では、2025年よりオンライン学習ツール「学研ナーシングサポート」を導入しました。それまでは看護部並びに院内職員全体の研修は、職員や外部講師が担っており、研修を企画・準備する職員の負担が課題となっていました。また、診療報酬改定や多様化する医療・看護のニーズに見合った研修内容を工夫することは難しく、何とかブラッシュアップしたいと考え、オンライン学習ツール導入を決めました。豊富なコンテンツを有し、かつ効率的に研修を運営できるツールとして、新任職員研修や院内全体研修、看護部経年別教育研修に活用しています。今後も「センター・西播磨病院理念及び看護部理念に基づき、患者・家族を尊重した質の高い看護サービスを提供できる人材を育成する」との教育理念のもと、各職員が主体的に学び、高め合う組織文化の醸成に努めていきます。



## 院外処方開始について 薬剤部



兵庫県立リハビリテーション西播磨病院は、3月16日より院外処方を始めております。今までは病院の中でお薬をお渡ししていましたが、院外処方箋を調剤薬局へ持ち込んでお薬を受け取っていただくようになりました。2024年度の統計では82.1%の医療機関が院外処方に移行しており、年々増加しています。

院外処方にするメリットの一つとして、「かかりつけ薬局」へ情報を集約しやすくなることが挙げられます。「かかりつけ薬局」を持って服用中のお薬情報を管理すれば、これまで以上に正しく服用するための支援や飲み合わせのチェックがしやすくなり、副作用の早期発見などの安全性も高まります。

厚生労働省も「かかりつけ薬局」を推進しており、安心安全な医療を行うには必要不可欠だと思っております。まだ「かかりつけ薬局」をお持ちでない方は、お住いの地域にある薬局の薬剤師さんに相談してみましょう。

## ワーキング活動 排泄ケアチーム

排泄ケアチームでは月1回、泌尿器科医、セラピスト、看護師が集まり排泄に関する障害を有する患者のスクリーニングを行い、排尿自立に向けたケア計画の検討を行っています。当院はウロダイナミクス検査(尿流動態検査)が実施できる数少ない医療機関でもあります。検査を行うことで膀胱や尿道の機能を正確に診断することができるため、その検査結果も含め、患者に合わせたケア計画の策定をしています。尿道留置カテーテルを抜去し、トイレ排尿への移行や、導尿等の自排尿獲得に向け取り組んでいます。排泄動作においてはセラピストが、患者の身体機能に応じた最善の方法を検討し、看護師と連携しながら患者指導を行っています。排便に関しても同様に、排便方法、排便姿勢、動作の習得と具体的にケアプランを立て取り組んでいます。排泄ケアは単なる衛生管理ではなく、個々の生活の質に直結する非常に重要なケアと考えています。排泄での困りごとや尿失禁等、何でもご相談下さい。今後も排泄に関する様々な問題解決に向けてチームで取り組んでいきたいと思っております。

